

広 報 た な べ

田 辺 町 役 場

電話田辺271~274

発行人 京都府田辺町
役 場 公 室

印刷所 奥田印刷KK

ふるさとを行く・4



飯 岡

あたかもアテネのアクロポリスの丘を思わせるような飯岡——その名のはじめは、むかし昨岡（くいおか）とよばれ、それが発音の変化でいまの「飯岡」になったといわれています。ふるく万葉集に柿本人麻呂は「春草を馬昨山の越え来なる雁のつかいは宿過ぐなり」（昨山の上を飛んでくる雁のつかいは私の宿の上をはやくも過ぎていってしまうのであるとの意）と詠んでいます。いまもその名のように、昨岡神社があります。伝説には東大寺大仏殿建立のころの大水で、岩石が流れつき岡になったということです。袋中上人や豊田武兵衛翁、また多くの古墳群など遺跡が散在し、考古学の宝庫でもあります。風光明媚、空気清澄な地として、こんごの開発が期待されています。現在人口は571人（男267人、女304人）、戸数は120戸です。（写真は飯岡部落）

季節のはがき

夏河を越すうれしきよ手に草履
暑中お見舞い申し上げ、この夏もみなさんお元気でと心からお祈り致します。夏はどうしても気がゆるみがちです。とくに、こどものみなさんを水や交通の事故から守りましょう。また自動車を運転される人たちに、いねむり運転のないように、そしてわたくしたちの「交通安全宣言の町」にご協力お願い致します。

田辺町長 山尾敬治

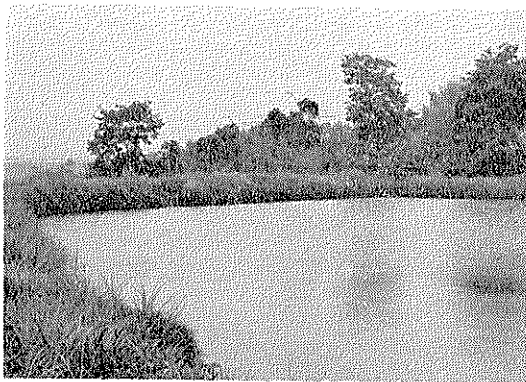
'66.7
No. 45

をまもろう



(田辺小学校水泳プールで)

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童はよい環境のなかで育てられる。
(児童憲章から)



町内には40か所もの大小のタメ池があります。
ここでは絶対泳がないようにしましょう。



また町内には四十か所に近い、大小の「タメ池」が散在しています。タメ池では、子どもたちが絶対泳がないよう見まもり、見かけたら注意し、正しく指導しましょう。

太陽がこどもたちを水辺に誘う盛夏の水のシーズンには、こどもたち待望のものですが、また水魔がしのびよる時でもあります。

町では昨年、田辺、三

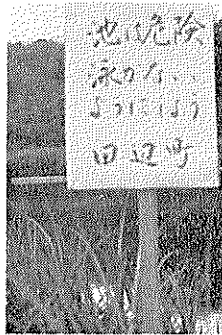


規則正しい水泳を

「タメ池」では泳がない

山木両小学校に、そしてことしは大住小学校に水泳プールを建設し、こどもたちの要望にこたえています。

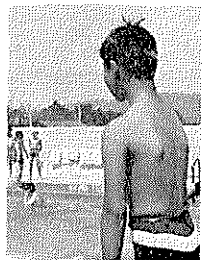
ふるくから、私たちに親まれてきた木津川も近年、砂利採取のため、くぼみが生じ、大変危険な用になりました。そこで数年前から木津川に仮設プールが設けられ、海



津川の危険か所には、遊泳禁止区域を標示したり、水辺パトロールを強化し、こどもを水の事故からまもる計画がたてられています。児童・生徒のみならず、ご家族も、こどもを水の事故からまもる計画がたてられています。

- 木津川の仮設プールは、つぎの五か所です。()内は使用校。
- 飯岡地先 (玉水橋下流西岸) (草内小・田辺中)
- 山城大橋上流 (草内小・田辺中)
- 山城大橋下流 (田辺中)
- 近鉄鉄橋上流 (田辺中)
- 大住地先 (田辺中)

夏休み.....



学校のプラン

小・中学生にプールを開放!!

＜夏休みの町内学校プールの使用＞

●使用許可は 7月21日から8月31日までの土曜日(午後)と日曜日。

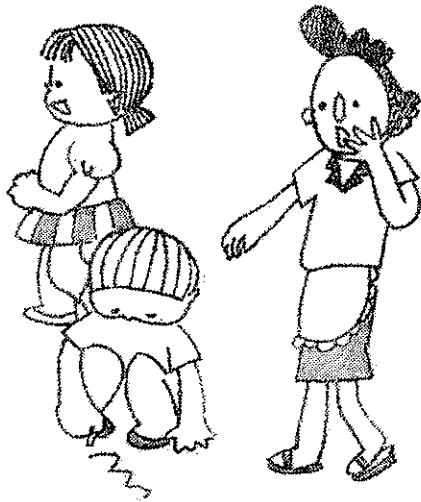
○使用できるのは 本町在住の小・中学生で責任ある監督者の引率する団体(たとえば各区のこども会など)。

使用希望団体は、なるべく早く希望するプール設置校の学校長に申して許可をえてください。そのほか、くわしくはプール設置校にお問い合わせください。

◆田辺小学校 七月二十一日から三日間、六年生が校内プールわきにテントを張りキャンピングする。なお全校生徒の形劇鑑賞などを計画。

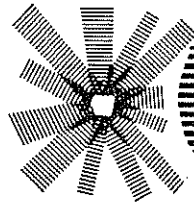
◆大住小学校 今夏に完成が予定される水泳プールは、いま児童のようこびの的である。七月二十、二十一日は、高浜へ六年生全員が臨海学習にかけける。また先生・育友会・児童が集って、夏休みのすこし方をいろいろと協議した。休み中の保健衛生には学校保健委員会が中心となって計画がたてられる。

こどもたちを危険からまもりましょう!



ママとほく
道路であそばぬ
おやくそく

夏休みの子どもを
交通事故からまもる運動
(7月20日～8月31日)



夏 ともたち



町内の各学校では、交通安全教室も行われています。
(華内小学校で)

世界の願い交通安全

子どもの事故ふえる

道路は広く美しく

本町は「交通安全の町」をひらく町内外に宣言して三年目をむかえました。

交通安全「こんなことばがえ生まれる昨今です。私たちが車に乗るときや、歩くときには、交通ルールを正しくまもることが務めであり、何よりも大切なことは、いまさらいうまでもありません。町でも住民を交通事故からまもり、道路交通がスムーズにおこなわれるよう7月25日に町交通安全対策協議会を結成し、事故防止計画をたてました。

京都府下の交通事故状況をみますと、毎日ほゞ一人が死亡し、五十人に近い人たちが負傷しているといわれています。私たちのまわりにも大小の事故を、他人や事故にあつた人をよく耳にします。何とおそろしいことでしょうか。



また、本町の道路をみると、走る車や駐車にほとんどが占領されています。道路は、みんなのものです。もっと歩く人の安全を考えてほしいものです。

道路をガレージがわりにしたり、邪魔なものを置かないで広く使いたいものです。みなさんのお協力をねがいます。

児は、親が目をなしたすきにひとり歩きをします。母親が昼前や夕方のお仕事などに追われているとき、事故発生が多くなっています。

児童では、学校の登下校、遊びに夢中になつているときに事故が多いといわれます。

私たちの責任として、子どもたちが交通ルールを正しくまもる社会人に育てあげたいものです。

歩行者の事故の中で、最も多いのは、全国的にみて年々ふえています。それも三分の二は不注意のためといわれています。とくに幼児のひとり歩きや小学生の自転車のりが一番あぶないのです。三、四才の幼

登下校の安全のために

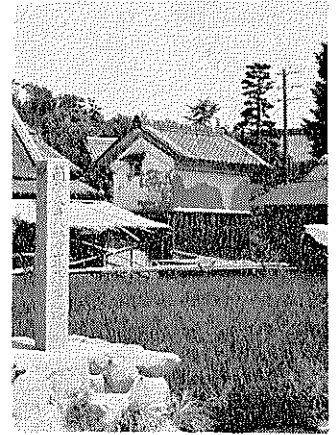
- 叱らない。
 - 忘れものをさせない。
 - 遅刻をさせない。
- の3ないに気をつけてやりましょう。子どもは心で動揺しやすいものです。ちょっとしたことも、交通安全の注意がおろそかになってしまうからです。
- 「おかあさんの交通安全メモ」から—

食中毒と伝染病

- 夏の夜ふかしはやめよう
- 暴饮暴食をしないようにしよう
- 発熱や下痢には早く医師の診断をうけよう

- ◆草内小学校
七月二十、二十一日五・六年生が高浜で臨海学習。八月二日、木津川水域で四年生全員の動・植・鉱物採集。九日、町内めぐりなどを計画。
- ◆三山木小学校
七月二十一、二十二日、六年生が高浜で臨海学習。八月上旬には部落ごとに育友会も交え、先生・生徒の反省会。またこの夏は、校下の子供会結成を推進。
- ◆普賢寺小学校
七月十八日に六年生が二見浦へ修学旅行。十九、二十日五・六年生が二見浦で臨海学習。また五・六年生の希望者で「くろんど池」でキャンプをする。このほか植物採集大会などがある。
- ◆田辺中学校
七月十九日から二年生が高浜へ臨海学習。二十三日から各学年毎に学業の個別相談(父兄・先生・生徒)をひらく。このほか、各種スポーツの山城大会、府大会などがある。また、体育や文化部のクラブ活動が一週間から二十日間程度、計画されている。

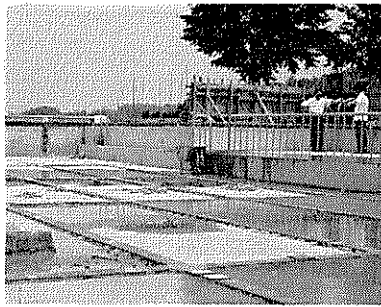
おしらせ 住民室 おしらせ



ふるさとの礎①
蘭学の泰斗
藤林普山生誕碑（水取で）

水泳プールでできる 大住小

昨年の三山木小・田辺小につづいて、ことしは大住小学校に水泳プールができます。この夏から使用できるよう、八月十日予定の完成をめざしていそいでいます。プールはさきの二校にない補助プール付きで延長二十五メートルの五コースとなっています。（写真は完成近い大住小水泳プール）



農地改革で国に農地を買収され、農地報償金を「農地報償金」の請求手続きをまだ済ませておられない方は早く書類を提出してください。

農地報償の請求を早く

なほ、くわしいことは、町役場産業課えお問い合せください。

犬の放し飼いは

迷惑です

犬はつないで

かきましょう

水道工事は届けで

水道工事の場合は、必ず町公認業者によっておこない、また届けでることを義務づけられています。メーターをくぐっているからあとは勝手に工事してもよいと考える方もありますが、水道法によって構造や材質の基準が定められています。そして、水が汚染したり、また漏水しないよう完全な水道としての検査をおこなうことになっています。

無届けで工事がおこなわれた場合は、条例によって給水を停止しますから、とくにご注意ください。

温水器を清潔に

みなさんの家の風呂は温水器ですか。その水の上げおろしは、同じ管でつながってはいませんか？もし、そうであれば危険です。温水器の中で発生した細菌が、断水などの場合、飲料用の給水せんからでてくるからです。このような工事は、水道工事として認められていないのです。すぐに工事のやり直しをしていただき、健康で明るい家庭をきづくため、安心して飲める水道にしましょう。



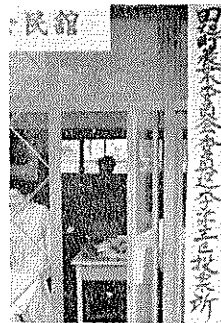
みなさんの国民健康保険で、つぎのようなときは、必ず十日以内に印鑑と保険証をもって役場住民課までおいでください。

さる六月十七日夕、自宅近くの道路でダンブにひかれてなくなった田辺の西川美由起ちゃん（二つ）の父、西川松巳さんから町へ三十万円もの寄付がありました。交通戦争とまでいわれる今日、交通事故はあとを断ちませ

悲しみを越えた 美しい善意

さる六月十七日夕、自宅近くの道路でダンブにひかれてなくなった田辺の西川美由起ちゃん（二つ）の父、西川松巳さんから町へ三十万円もの寄付がありました。交通戦争とまでいわれる今日、交通事故はあとを断ちませ

んが、私たちはおたがいに人命を大切にしたいものです。町では、西川さんの悲しみを越えた美しい善意を永く記念するため、新しく建設される田辺保育所の福祉施設に役立てたいと検討しています。



投票率八十七・六四%

町農業委員会選挙

町の農業委員会委員選挙は七月十五日あさ六時から町内五つの投票所で行われ、投票率では八十七・六四パーセントという高率をしました。当選された方がたは、つぎのとおりです。
井上秀生（江津）、山岡元次（草

募集ポスター

ことしも府の選管では、明るく正しい選挙推進のPRポスター（選色）を、大さは五十五センチ×四十五センチ以内を募集しています。応募資格は、小、中、高校生で、一人一点にかぎります。メ切は九月三日。応募作品には学校名、学年、氏名、性別を書いて田辺町役場選挙管理委員会あて提出してください。